

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

推算GFR値の報告開始について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年日本腎臓学会より血清クレアチニン値、年齢、性別を用いた「日本人用GFR推算式」が公表され、慢性腎臓病(CKD)の早期発見・早期治療のため、本「推算式」の普及が呼びかけられています。これを受け、弊社におきましても下記の通り推算GFR値をご報告させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内する次第です。

宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

報告開始日

- 平成21年4月1日(水) 受付日分より

報告条件

- 新たな検査項目として“[1526] 推算GFR値”を設定致します。
- “[0032] 血清クレアチニン”と同時に“[1526] 推算GFR値”をご依頼いただき、年齢および性別が依頼書に記載されている場合に推算GFR値を報告致します。
- 推算GFR値の報告単位は“mL/min”と略記致します。
- 以下のいずれかに該当する場合、推算GFR値は報告できません。
 - ①“血清クレアチニン”、“推算GFR値”のいずれか一方のみをご依頼の場合
 - ②ご依頼時に年齢あるいは性別の記載がない場合
 - ③年齢が18歳未満の場合

推算GFR値

推算GFRは、血清クレアチニン値(Cr)、年齢(Age)、性別から以下の推算式を用いて糸球体濾過量を推定します。

$$\text{男性：GFR (mL/min/1.73m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{Age}^{-0.287}$$

$$\text{女性：GFR (mL/min/1.73m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{Age}^{-0.287} \times 0.739$$

※ GFRの単位中で“1.73m²”は、日本人の健常成人における平均体表面積を意味します。

ここでの推算式は18歳以上に適用され、血清クレアチニンの正常域が年齢に応じて変動する小児に使用することはできません。

慢性腎臓病(CKD)は、①GFR<60mL/min/1.73m²、②尿異常・画像診断・血液・病理で腎障害の存在が明らか(特に蛋白尿の存在が重要)のいずれか、または両方が3ヶ月以上持続するものとして定義されます。

■ CKDのステージ分類

病期ステージ	重症度の説明	推算GFR値mL/min/1.73m ²
	ハイリスク群	≥90 (CKDのリスクファクターを有する状態で)
1	腎障害(+) GFR正常または亢進	≥90
2	腎障害(+) GFR軽度低下	60~89
3	GFR中等度低下	30~59
4	GFR高度低下	15~29
5	腎不全	<15

日本腎臓学会編『CKD診療ガイド』,2007年より

検査要項

項目コード	1526
検査項目名	推算GFR値
検査方法	計算法
基準値	90 mL/min以上
所要日数	1~2日

注：推算GFR値は、血清クレアチニンと同時依頼された場合に限りご報告致します。
ご報告に当たっては、年齢、性別を必ず明示して下さい。